

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024	開講キャンパス	都城	開設学科	環境園芸				
科目名称	昆虫学・樹木学実験					授業形態	実験		
科目コード	710128	単位数	2	配当学年	2	実務経験教員担当		アクティブラーニング	
教員氏名	新谷喜紀 / 日高英二						ICT活用		
授業概要	「昆虫学」と「樹木学」のサポート科目として、昆虫や樹木を直接触って観察し、昆虫や樹木の特徴を理解する。								
関連する科目	昆虫学 樹木学								
授業の進め方と方法	昆虫実験では昆虫の採取・同定や飼育の方法について実践し、昆虫の解剖なども体験する。樹木実験はキャンパス内の樹木サンプルを採取し、樹種の特徴や識別ポイントの観察を行い、観察と同時にスケッチ及び樹種特徴の記録を行う。								
授業計画	第1回 昆虫実験 昆虫の採集・同定と飼育（採集法を学び、飼育を開始する）								
	第2回 昆虫実験 昆虫の採集・同定と飼育（採集法を学び、飼育を続行する）								
	第3回 昆虫実験 昆虫の採集・同定と飼育（採集法を学び、飼育結果を観察する）								
	第4回 昆虫実験 昆虫の解剖								
	第5回 昆虫実験 フェロモンの機能の観察								
	第6回 昆虫実験 天敵昆虫の観察								
	第7回 昆虫実験 各種農薬の毒性の検定								
	第8回 樹木学実験 針葉樹の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第9回 樹木学実験 広葉樹（ブナ科、ニレ科、カエデ科、その他分裂葉）の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第10回 樹木学実験 広葉樹（クスノキ科、モチノキ科）の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第11回 樹木学実験 広葉樹（ツバキ科、モクセイ科、マメ科、その他複葉）の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第12回 樹木学実験 広葉樹（バラ科など）の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第13回 樹木学実験 広葉樹（マンサク科、モクレン科）の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第14回 樹木学実験 広葉樹（ツツジ科、カバノキ科）の特徴の観察と識別ポイントの理解								
	第15回 まとめ：レポート作成								

授業の到達目標	昆虫の採集法や飼育法、生理生態について実物を観察することで、昆虫学を学ぶにあたり必要な知識の裏付けとなる基礎を修得する。一般的な樹木（100種程度）は確実に樹種の同定ができ、樹木の特徴を観察して図鑑等で樹種検索ができるようになる。										
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力	(1)	○	(2)	○						
	2. 汎用的技能を応用し活用する能力	(1)		(2)							
	3. 人間力、社会性、国際性の涵養	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
授業時間外の学修	<p>〈予習〉 あらかじめ配布した資料によって、大学内等で観察などをする。 樹木学で学んだ樹木の特徴部位の用語や識別方法、各樹種の特徴を整理する。</p>										
	<p>〈復習〉 配付資料（図鑑の一部等）を基にして、個人的に復習する。 キャンパス内の植栽木や周辺の公園・緑地で樹木を観察し、樹種の同定をする。</p>										
課題に対する フィードバック	提出課題を評価、チェック後返却										
評価方法・基準	提出課題（スケッチ等）の出来を評価										
テキスト	資料配布										
参考書	各種樹木図鑑等										
備考											